

1万6760人の願い

なぜ、反対するの？

中学校給食を求める請願を **不採択!!**

反対15人

守山市議会12月定例会は、12月18日閉会しました。提出されていた「中学校給食を求める請願」は、右の表の通り、日本共産党の2人が賛成のみで、15人が反対（政志会の3人は棄権）して不採択となりました。小牧議員は、文教福祉常任委員長長の報告に対し質疑、松葉議員は賛成討論し、人口の約2割の願いを採択すべきと発言しましたが、國枝議員が反対討論、15人の議員は冷たく反対しました。市民の声の代弁者、市民の代表であるはずの議員が人口の2割の市民の声を踏みにじる行為。議員の役割が大きく問われる事態です。ちなみに、栗東市議会は同様の「給食を求める請願」を継続審査。

共産党		政和会							政志会		ネットワーク未来(民主)		公明党		無	議長					
小牧一美	松葉栄太郎	菅井昌彦	田中国夫	本城政良	西村利次	広実照美	森貴尉	石田敬治	新野富美夫	田中仁一郎	高田正司	藤木猛	小西孝司	下村勲	奥野真弓	國枝敏孝	渋谷成子	山崎直規	中野隆三	池田眞二	
○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	退席		×	×	×	×	×	×	×	×	一



小牧一美議員
●健康寿命の延伸について
●守山中学校校舎デザイン
見直すべき

（問）守山市民病院で行った健康フェスティバルは評価する。市民の健康と医療に責任をもち、健康づくりに積極的に取り組むべき。

（市民病院事業管理者）死亡原因の6割が生活習慣病。予防と早期発見、早期治療が重要。市の健康福祉・保健施策と連携して必要な医療を提供する。

（問）「すこやかまちづくり行動プラン」で目指す健康寿命の延伸目標をどう総括しているか。

（健康福祉部理事）徐々に健康寿命が伸びてきている。継続して取り組むことで、健康づくりの成果が出る。市民病院とも一体的に健康づくりや介護予防を進めていきたい。

（問）安倍政権は、要支援1・2を介護保険から外し、市町の地域支援事業に移行など、公的な医療・介護費用を抑制・削減を進めるも

の。介護予防とは逆行する。

（健康福祉部理事）地域の実情に応じて「地域支援事業」を再構築する。介護予防の充実に努める。

（問）守山中学校の新校舎建設は3度目の入札も不調。屋根のデザインが大きな障害となつて時間を浪費している。若干の工法変更では根本的解決にならない。全面的に全体設計を見直すべき。

（市長）現行予算の範囲内で年度内に契約できるよう取り組み平成28年7月完成を目指す。

（問）コンペに要した費用はどれだけか。生徒の学習への影響はどうか。教育長としての責任をどう認識しているか。

（教育長）コンペに要した費用は630万円。グラウンドが従来よりも狭いが、基本的に学習全般に大きな影響はない。今後最善を尽くす。



松葉栄太郎議員
●小規模企業支援について
●介護保険制度の改悪と次期計画について

（問）小規模企業振興基本法が制定され経産省から基本計画も出された。5人以下の小企業の振興は県や商工会異議所任せではなく、自治体の責務と位置付けられている。基本法に對する考え方は。

（都市活性化局長）基本法に基づき各関係機関と連携しながら必要な施策の強化・充実に努めていく必要があると考えている。

（問）基本法の重点施策の中に、「地域経済に波及効果のある事業」が盛り込まれている。現在の耐震・住宅エコリフォーム助成制度を一般リフォームから適用すれば更に経済効果も上がり地域振興につながるのでは。

（都市活性化局長）経済対策のみならず、環境施策や安全安心につながる施策と連動させることが望ましいと考えており、条件緩和は考えていない。

（問）来年4月から介護保険サービス、介護保険料、利用者負担が改正される。要支援の地域支援事業への移行計画は変更ないか。

（健康福祉部理事）28年度までは現行通りのサービスを維持し、29年度からの実施を想定している。移行後も現行と極端なサービスの差が生じないよう配慮していく。

（問）特養入所申し込み条件は要介護3以上に限定されるが、要介護1・2の対応は。

（健康福祉部理事）要介護1・2の者から申請があつた場合、施設は市に報告を行い、市の意見を求めることになっている。やむを得ない事由がある場合は、入所が認められるので市も適宜、関与する。

（問）介護保険料は。国は6千円前後になると見込んでいるが本市としては未定。

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
小牧一美
TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

守山市議会議員
松葉栄太郎
TEL 584-3077
FAX 584-3466